

## (児童発達支援) 保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

R3年度 こじか園

公表 : 令和 4年 4月 5日

事業所名: 山鹿市社会福祉協議会 児童支援事業所 こじか園

保護者等数(児童数)19名 回収数:18 割合:94.7%

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見をふまえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	18					十分なスペースを活用
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	17			1		適切である
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	18					個室の活用、ホールでの運動等視覚支援に配慮している
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	17			1		十分なスペースを活用
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で児童発達支援計画が作成されているか	17	1				保護者からのニーズも含め再検討します
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	16			2		より具体的な説明に配慮していきます
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行なわれているか	17	1				計画の再確認を重視
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	17			1		見直しを実施
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	9	1		8		現在実施していません
保護者への説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	17			1		契約時に説明有
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	17			1		保護者のニーズ・児の特性を考慮した計画を説明している
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行なわれているか	12	1		5		モニタリング等で共通理解に努めます
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況や課題について共通理解ができているか	16	1		1		親子療育にて情報共有
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行なわれているか	15	2		1		随時、相談受付
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	10	3		5		こじか園茶話会の情報等をお知らせしています
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	17	1				要望、意見を傾聴し対応策を考えている
	17 子どもや保護者との意志の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	18					傾聴し悩みを共有している
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	8	4		6		ホームページ等の閲覧情報をお知らせしていきます
19 個人情報の取り扱いに十分注意されているか	18						
非常時等の対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が行なわれているか	7	3		8		個々の利用日以外に訓練が行われています
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行なわれているか	6	2		10		利用曜日に合わせた訓練を検討します
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしているか	16	2				繰り返し、内容の検討をしていきます
	23 事業所の支援に満足しているか	18					寄り添える支援を目標とします

